

金沢城・兼六園 ガイドマップ

「金沢城・兼六園」は「世界遺産」登録を目指しています。

ご利用案内

金沢城公園

入園料(入館料)

3/1~10/15 7:00~18:00
10/16~2/末日 8:00~17:00
※玉泉院丸庭園夜間開園・ライトアップ
閉園時間後~21:00(原則休前日のみ)
※菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓・
橋爪門・河北門
9:00~16:30(最終入館 16:00)
※玉泉庵
9:00~16:30(最終入室 16:00)
(12/29~1/3はお休みです)

入園料: 無料
※菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓・
橋爪門
入館料: 大人310円(団体250円)
小人100円(団体80円)
※団体は30人以上
※河北門
入館料: 無料
※玉泉庵
抹茶720円(和菓子付)
※貸室: 有料

ボランティアガイド(無料)受付(予約不可): 入口休憩所、玉泉庵

兼六園

入園料(茶室料)

3/1~10/15 7:00~18:00
10/16~2/末日 8:00~17:00
※時雨亭
9:00~16:30(最終入亭 16:00)
(12/29~1/3はお休みです)

入園料: 大人310円(団体250円)
小人100円(団体80円)
※団体は30人以上
※時雨亭茶
煎茶 310円
抹茶 720円(和菓子付)
※貸室(室): 芝生使用: 有料 見学: 無料

見て歩きコース

◆金沢城(城内ルート)

三御門コース <30分>
(車イスお推めコース)

堪能コース <70分>

(菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓・橋爪門の見学には別途約30分かかります)

◆兼六園

六勝コース <60分>

..... 車イスお推めコース



- 案内所 - お手洗い - 多目的お手洗い - 路線バス	- タクシー - 駐車場 - 駐輪場 - 神社	- オストメイト対応 - コインロッカー - 身障者用駐車場 - AED	- 入園者出入口 - 重要文化財 - 車イス貸出 - ライトアップ (22時まで)
--	--	---	--

関係者以外の立入はご遠慮願います。

金沢城の見どころ

いしかわもん

石川門(重要文化財)

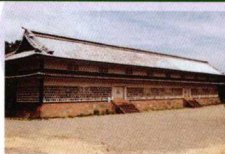
金沢城の搦手(裏口)門で、高麗門の
一の門、櫓門の二の門、続櫓と二層
二階建ての石川櫓で構成された枡形
門で、金沢城三御門のひとつです。
天明8年(1788年)に再建されまし
た。枡形内の石垣は右と左で技法
が異なり、右側は「切石積み」、左側
は「粗加工石積み」です。



さんじっけんながや

三十間長屋(重要文化財)

二層二階の多間櫓で、安政5年(1858
年)に再建されました。倉庫として
使われた建物で長さは26間半です。
土台の石積みの技法は、「切石積み」
ですが、表面の縁取りだけをそろえ、
内側を粗く残す「金堀り残し積み」
という技法が用いられています。



かほくもん

河北門

金沢城の実質的な正門で、高麗門の
一の門、櫓門の二の門、枡形土堀で
構成された枡形門です。石川門、橋
爪門とともに「金沢城三御門」と呼
ばれ、二の門は城内で最大規模を誇
ります。平成22年4月に復元され、
内部が一般公開(無料)されています。



はしづめもん

橋爪門

二の丸への正門として最も格式の
高い門で、高麗門の一の門、石垣と
二重堀で囲まれた枡形、櫓門の二の
門からなります。「金沢城三御門」
のひとつで、城内最大の枡形門です。
平成27年3月に復元され、二の門
内部は一般公開(有料)されています。



金沢城の石垣

金沢城は「石垣の博物館」とも言われ、多種多様な
石垣が現存しています。城の周りには野趣に富む
高石垣、藩主の御殿や庭園周りにはデザイン感覚
にあふれる石垣群を築くなど、場所によって石垣様
式を使い分けています。

自然石積み



ほとんど加工のない自然石
を積み上げる技法。古い時
代の石垣にみられる。

粗加工石積み



形や大きさをそろえた割石
を用いて積み上げる技法。

切石積み



石同士の接合部分を隙間なく
加工して積み上げる技法。

菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓

二棟の三層三階の物見櫓「菱櫓」と
「橋爪門続櫓」を、二層二階の倉庫「五
十間長屋」でつないだ建築物です。
平成13年7月に復元され、明治以
降に建てられた木造城郭建築物とし
ては、国内最大規模です。内部は一
般公開(有料)されています。



つるまるそうご

鶴丸倉庫(重要文化財)

城郭内に残っているものとしては国
内最大級の土蔵です。武具が保管
されていました。幕末の1848年に
竣工し、明治以降は、陸軍によって
被服庫として使われていました。石
板を貼った外壁など、櫓や城門など
とはデザインを変えています。



きゅうだいろくりやだんしれいふ

旧第六旅団司令部

木造瓦葺きのフランス様式を取り入
れた平屋建ての建物です。明治31
年に建てられました。中央に玄関が
あり、左右対称の外観です。レンガ
積みの基礎に、腰から軒までの外壁
はモルタル塗り、上下に開閉する窓
が付いています。



ぎょくせんいんまるていえん

玉泉院丸庭園

2代藩主利長の正室玉泉院(永姫)が屋
敷を構え、後に利常(3代)が作庭を始め、
廃藩時まで藩主の内庭として存在して
いました。平成27年に池泉回遊式庭園とし
て江戸後期の姿を再現するとともに、池
のほとりには庭園を一望できる玉泉庵を
整備し、和室では季節にちなんだ生菓子
と抹茶(有料)を楽しむことができます。

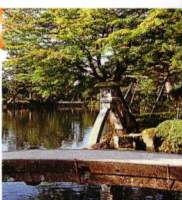


兼六園の見どころ

ことじとうろう

徽軫灯籠

徽軫灯籠は足が二股になっていて、琴の
糸を支える琴柱に似ているのでその名が
ついたといわれています。この灯籠は水
面を照らすための雪見灯籠が変化したも
ので、高さは2.67メートル。かたわらの
モミジの古木、曲水に架かる虹橋と一体
となって優れた風景を醸し出しています。



がんてうばし

雁行橋

11枚の赤戸室石を使用し、雁が夕空に
列をなして飛んでいく様をかたどった「雁
行橋」。石の1枚1枚が亀の甲の形をして
いることから「亀甲橋」ともいわれ、こ
の橋を渡る長生きするとされてきまし
たが、現在は石の磨耗が著しいため、通
行できなくなっています。



はなみばし

花見橋

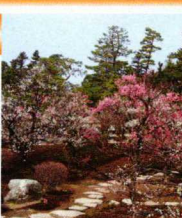
擬宝珠の欄干がある木橋。橋から見る花
の眺めが素晴らしいことから、この名前
が付けました。花の季節になると、穏や
かに流れる曲水に沿って、桜、カキツバタ、
サツキ、ツツジなどが咲き誇り、多くの
人を魅了します。夏の緑陰、秋の紅葉、冬
の雪景も見逃せません。



ばいりん

梅林

昭和43年、明治百年記念事業として、北
野天満宮、大宰府や湯島天神、水戸偕楽
園などの協力により、全国の名梅を集め
て造成されました。その後、平成12年度
に長谷池周辺の庭園整備を終え、現在20
種類、200本の梅が植えられており、3月
になると紅白の花が美しく咲き誇ります。



しくれてい

時雨亭



時雨亭は、5代藩主綱紀が建てた蓮池御亭が起源とされています。続く6代藩主吉徳が老朽化
した御亭を建て替え、補修しながら存続させ、藩政後期には時雨亭とも呼ばれる様になりまし
た。現在の時雨亭は、当時の平面図をもとに、平成12年に再現した建物です。8畳と10畳の
座敷の間に1畳台目の「御囲」と呼ばれる小さな茶室が設けられています。

時雨亭で使用している抹茶は、オリジナルブレンドです。お茶の銘は、
「蓮池の香(れんちのか)」といい、前田家18代当主前田利祐氏の命銘
です。また、生菓子も時雨亭オリジナルで、季節ごと(6季)の味をお楽し
みいただけます。



からさきのまつ

唐崎松

13代藩主・斉泰が近江八景の一つ、琵琶
湖畔の唐崎から松の種子を取り寄せて育
てた黒松。兼六園の中で最も枝ぶりの見
事な木です。雪の重みによる枝折れを防
ぐため、冬にほどこされる雪吊りは他の庭
園では見られない、兼六園ならではの風
物詩です。



ねあがりまつ

根上松

大小40数本もの根が地上2メートルにまで
せり上がった奇観はたいへんな迫力で、兼
六園名物の一つとなっています。この松は、13
代藩主・斉泰が、松の根が地表近くに成長す
る性質を利用して土を盛り上げて若松を植え、
根を深く土で覆い、成長後に土をのぞいて根
をあらわにしたものだといわれています。



やまざやま

山崎山

カエデ、トチノキなど落葉広葉樹林が多く
植えられており、秋になると赤や黄に美
しく色づくので「紅葉山」とも呼ばれます。
山腹には白川御影石で作られた五重の塔
(御室の塔)があり、また、山麓の岩間から
流れ出る水は、約570メートルの曲水と
なって霞ヶ池に注いでいます。



ふんすい

噴水

霞ヶ池を水源とし、池の水面との高低差
による自然の水圧であがっています。水
の高さは霞ヶ池の水位によって変わりますが、
概ね3.5メートルです。藩政末期、
金沢城内の二の丸に水を引くため試作さ
れたものと伝えられており、日本で最古
の噴水といわれています。



●車椅子でご入園(館)
できます

●ガイドサービスあります
※2 (兼六園有料)

●動物を連れての入園
は禁止です

●二輪車は
入園禁止です

※1 車イス駐車場は兼六園は伝統産業工芸館(☎076-262-2020)、金沢城公園は障害者用駐車場へ
※2 兼六園のガイドお問い合わせ先 兼六園観光協会 ☎076-221-6453
金沢城ボランティアガイド(石川門の入口休憩所・玉泉庵に常駐(予約不可))

●問い合わせ先

石川県金沢市丸の内1-1 (〒920-0937)
石川県金沢市・兼六園管理事務所
TEL 076-234-3800 FAX 076-234-5292

※詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.pref.ishikawa.jp/siro-niwa/>

兼六園花暦

1月	梅	マンサク	カラミザクラ	サザンカ	1月
2月	ユキツバキ	アセビ	サンシュユ	ツバキ	2月
3月			ソメイヨシノ	十月桜	3月
4月	ツツジ	カキツバタ	トサミズキ	冬桜	4月
5月	ミズバショウ	サンザシ	旭桜・塩蓋桜・兼六園無谷		5月
6月	カリン	サツキ	兼六園菊桜		6月
7月			ムラサキシキブ		7月
8月			コウホネ	ハギ	8月
9月	シロバナハギ		キササゲ	フジバカマ	9月
10月				ホトトギス	10月
11月	ムラサキシキブ(実)		キンモクセイ	スズキ	11月
12月	ウメモドキ(実)				12月